

子ども・子育て計画点検シート

(令和元年度実績・令和2年度指針)

白河市子ども・子育て会議

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
(1) 地域における子育て支援サービスの充実	ファミリー・サポート・センター事業	平成24年度から開始し利用件数及び会員が年々増加している中で、「まかせて会員」の数が少ないため、今後も会員確保に努めます。	利用件数 856件 おねがい会員 201人 まかせて会員 40人 両方会員 2人	利用件数 597件 おねがい会員 233人 まかせて会員 42人 両方会員 2人	継続	継続	こども支援課
	放課後児童健全育成事業	市内すべての小学校区で実施している放課後児童クラブの保育環境の整備に努めます。また、対象年齢の拡大に伴い、受け入れ施設の改修を検討します。	登録児童の安全確保と入会希望者の増加に対応するため、大屋小学校児童クラブの改修を実施した。 登録者：990人 (H30.4.1現在)	登録者：949人 (H31.4.1現在)	継続	継続	こども育成課
	休日保育事業	本市においては、特定の保育園が特定の児童を対象として休日保育の事業を展開するほどの需要は見込めません。そのため、休日の保育需要に対しては、ファミリー・サポート・センター事業等の実施による代替の検討を行います。	未実施	未実施	継続		こども育成課
	病児保育	病気や病気の回復期などにあり就労などにより保育の必要がある児童を施設で預かる事業です。本市においては、事業実施に向け、病院等に同事業の併設を盛り込むよう今後も働きかけを行います。	病気を患い保育所、幼稚園等で保育することが困難な児童を一時的に保育する病児保育施設を白河厚生総合病院敷地内に建設し児童の福祉の向上を図った。	病気を患い保育所、幼稚園等で保育することが困難な児童を一時的に保育する病児保育施設を白河厚生総合病院敷地内に建設し児童の福祉の向上を図った。	継続	継続	こども育成課
	一時預かり保育事業	本市では、現在公立1園私立3園の保育園で一時預かり保育事業を実施しています。今後は、通常保育の児童と同様の保育時間の実現、土曜日も平日と同様の保育時間での事業実施により、保護者の緊急な保育の要望に対応できるように努めます。	継続	継続	継続	継続	こども育成課
		保護者の利便性を図るため、ファミリー・サポート・センター及び地域子育て支援拠点事業（おひさま広場）でも保護者の私用等の理由により、短時間の一時預かりを行います。	利用件数 ファミリー・サポート・センター 37件 おひさまひろば 102件	利用件数 ファミリー・サポート・センター 81件 おひさまひろば 97件	継続	継続	こども支援課
	幼稚園預かり保育事業	本市では、公立8園、私立5園の全ての幼稚園で、保護者の希望に応じて通常の保育時間外に、子どもを引き続き預かる「預かり保育事業」を実施しています。核家族化や夫婦共働き家庭の増加などを考慮し、今後も預かり保育内容の充実を図ります。	継続	継続	継続	継続	こども育成課
	地域子育て支援拠点事業	子育て中の親が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、交流を深めたり、育児相談や育児に関する知識を深めたりすることのできる機会を身近な地域で確保するため、「つどいの広場事業」を継続して実施いたします。	利用者数 こども 7,985人 大人 6,818人 一時預かり事業を実施	利用者数 こども 7,421人 大人 6,152人 一時預かり事業を実施	拡充 赤ちゃんひろばの回数を増やす。	継続	こども支援課 民間事業者

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	地域子育て支援センター事業	現在、市内では1箇所で開催しており、事業実施日には多数の親子が参加しています。今後は、情報提供体制の強化に努めるとともに、利用者が利用しやすい環境整備に努めます。	継続	継続	継続 子育て世代包括支援センター「ぼっかぼか」及び民間の広場事業等で継続実施		こども支援課
	子育て支援・地域活動事業	市内の認可保育園12園は、毎月1、2回、保育園を開放し、未就園親子を中心に触れあい遊びや育児相談を行います。	継続	継続	継続	継続	こども育成課
	家庭児童相談事業	家庭児童相談室では、0歳から18歳までの児童を対象に知能、性格、言語、心身障がい、家庭環境など、子どもを取り巻くいろいろな課題についての相談に応じます。	家庭児童相談室年間相談件数 新規 60件 継続 1,605件 合計 1,665件	家庭児童相談室年間相談件数 新規 47件 継続 1,289件 合計 1,336件	継続	継続	こども支援課
	ホームスタート事業	未就学児の子どもがいる世帯を対象に、地域の子育て経験者（ホームビジター）が家庭を訪問し、傾聴と育児や家事を協働して行うことにより、ネグレクト（育児放棄）等の虐待防止及び早期発見並びに親の地域社会との関わりを手助けすることにより、孤立防止など要保護児童対策を図ります。	登録者数 オーガナイザー 2人 ホームビジター 33人 訪問回数 19家庭（延べ109回）	登録者数 オーガナイザー 3人 ホームビジター 34人 訪問回数 29家庭（延べ131回）	継続 妊娠期からの利用を試行し、利用者の拡大を検討する。	継続 妊娠期からの利用を試行し、利用者の拡大を検討する。	こども支援課
	子どもの居場所づくり支援事業	様々な支援を必要とする子どもたちのために、地域での居場所（こども食堂）をつくり、食事・団らんの場の提供や学習支援を行います。	週一回、市内1か所で「子ども食堂」を開催。開催回数45回、年間利用人数延べ1,168人。	・委託事業<1か所> 開催回数44回、年間利用人数延べ1,100人。 ・補助事業<計2か所> 開催回数計51回、年間利用人数延べ計1,098人。		新規	こども支援課
	白河っ子応援事業	保育園・幼稚園の4歳児を対象にすこやか相談会やフォローアップ訪問を開催します。	・すこやか相談会 回数：42回 実施児童数：506名 ・フォローアップ訪問 回数：26回 実施児童数：67名 ・巡回相談 回数：27回 実施児童数：113名 ・発達障害児支援に関する研修会 回数：4回 ・発達障がい児親の会相談 1回 ・白河っ子応援事業連携会議 1回	・すこやか相談会 回数：42回 実施児童数：437名 ・フォローアップ訪問 回数：23回 実施児童数：77名 ・巡回相談 回数：27回 実施児童数：161名 ・発達障害児支援に関する研修会 回数：4回 ペアレントトレーニング 5回 ・白河っ子応援事業連携会議 3回 ・特別支援教育情報提供相談会 12回 12人 ・小学校見学同行支援 14人	拡充 保健、福祉、保育、教育のスムーズな連携支援体制の構築に向け、連携会議を開催する。また、就学に向け、特別支援教育について情報を得る機会として、希望する年長児等の保護者を対象に個別相談会を開催し情報提供と不安の軽減に努める。	拡充 保健、福祉、保育、教育のスムーズな連携支援体制の構築に向け、連携会議を開催する。また、就学に向け、特別支援教育について情報を得る機会として、希望する年長児等の保護者を対象に個別相談会を開催し情報提供と不安の軽減に努める。	こども支援課
	白河っ子応援センター「ぼっかぼか」	妊娠期から子育て期までの必要な情報を、ホームページ、スマートフォン向けアプリ、子育て支援ガイドブックにより提供します。また、窓口に専門職員を配置し、ワンストップできめ細やかな相談支援を行います。	継続	継続	継続	継続	こども支援課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
(2) 保育サービスの充実	通常保育事業	保育指針に基づく適切な保育を提供し、子どもが成長できる環境づくりに努めるなど、一層の保育内容の充実を図ります。	継続 公立6園、私立10園	継続 公立6園、私立10園	継続	継続	こども育成課 民間事業者等
	延長保育事業	労働時間の多様化などによる保護者ニーズに対応するため、延長保育事業を拡充していきます。	継続	継続	継続	継続	こども育成課 民間事業者等
	障がい児保育事業	障がい児保育指導員を置き、障がい児保育に関する調査や指導を行うほか、保護者に対する相談、助言を実施します。	継続	継続	継続	継続	こども育成課 民間事業者等
	待機児童の解消	待機児童を解消するため、必要に即した保育士を確保するほか、保護者ニーズに対応した施設整備に努めます。	白河市社会福祉協議会で実施する白河保育園の移転改築（定員60→120人）に対し、事業費の一部を補助する。	熊田学園で実施する認定こども園の創設（定員108人）に対し、事業費の一部を補助する。	継続	継続	こども育成課
	乳児保育の実施	生後6か月から入園できる乳児保育を継続していきます。	継続	継続	継続	継続	こども育成課 民間事業者等
	保育の質の向上	職員が適切に子どもの成長を支援できる研修等を開催し、保育の質の向上を推進していきます。	全体講習会：1回開催 外部研修会への派遣：2人	全体講習会：1回開催 外部研修会への派遣：2人	継続	継続	こども育成課 民間事業者等
(3) 子育て支援ネットワークづくり	子育て支援のネットワーク	子育て支援サービスの質の向上と、効果的な提供体制を構築するため、庁内関係部所の連携強化を図るとともに、NPO、民間事業者及び様々な地域活動団体と協働し、官民の枠を越えた地域における子育て支援のネットワーク化を促進します。	要保護児童対策地域協議会を活用した子育て支援のネットワーク化を推し進めた。	要保護児童対策地域協議会を活用した子育て支援のネットワーク化を推し進めた。	継続 要保護児童対策地域協議会の中で、子育て支援のネットワーク化を推進する。	継続 要保護児童対策地域協議会の中で、子育て支援のネットワーク化を推進する。	こども支援課 民間事業者等
	子育てに関する意識啓発	地域住民の多くが子育てへの関心・理解を高め、地域全体で子育て家庭を支えることができるよう、子育てに関する意識啓発を進めます。	継続	継続	継続	継続	こども支援課
(4) 地域で支える児童の健全育成	放課後子ども教室推進事業	小学校15校中4校で実施しており、今後も余裕教室等の活用、活動指導員の確保について検討し、実施する学校を増やしていきます。	継続	継続	継続	継続	こども育成課
	家庭児童相談事業【再掲】	家庭児童相談室では、0歳から18歳までの児童を対象に知能、性格、言語、心身障がい、家庭環境など、子どもを取り巻くいろいろな問題についての相談に応じます。	【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】	こども支援課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	生徒指導に関する学校支援	小中学校全23校で実施しています。校内研修に市教委指導主事やスクールカウンセラーを活用して内容の充実を図ります。	小・中学校全23校で実施 学校の求めに応じてケース会議も実施	小・中学校全23校で実施 学校の求めに応じてケース会議も実施	継続 指導主事や学校のスクールカウンセラーだけでなく、家庭児童相談員等や県南教育事務所のスクールソーシャルワーカー、児童相談所などの関係機関の協力を得て、多くの関係者を活用して内容の充実を図る。	継続 指導主事や学校のスクールカウンセラーだけでなく、家庭児童相談員等や県南教育事務所のスクールソーシャルワーカー、児童相談所などの関係機関の協力を得て、多くの関係者を活用して内容の充実を図る。	学校教育課
	スクールカウンセラー配置事業	小中学校全23校に配置しています。コンサルテーション（相談。専門家の診断や鑑定を受けること。）の時間を工夫しカウンセリングの結果を受けた対応を共有する機会を持ちます。	小学校15校 2,173件 中学校8校 2,640件	小学校15校 2,188件 中学校8校 2,729件	継続 コンサルテーションの時間と内容を工夫していくことで効果的なカウンセリングを進め、その結果を共有しながら個に応じたきめ細やかな支援ができるようにする。	継続 コンサルテーションの時間と内容を工夫していくことで効果的なカウンセリングを進め、その結果を共有しながら個に応じたきめ細やかな支援ができるようにする。	学校教育課
	適応指導教室の開設	「さわやか教室」を心の居場所として機能させ、小集団活動によりコミュニケーション能力を育むとともに、学校や保護者との連携を密にし、本人の興味や意欲を踏まえてさらに学校復帰が図られるようにします。	不登校児童生徒適応指導教室 「さわやか教室」の運営	不登校児童生徒適応指導教室 「さわやか教室」の運営	継続 通室による指導だけでなく、電話や家庭訪問、手紙など多様な方法を工夫し、自己存在感や自己肯定感を高めていくように支援する。	継続 通室による指導だけでなく、電話や家庭訪問、手紙など多様な方法を工夫し、自己存在感や自己肯定感を高めていくように支援する。	学校教育課
	人権教育の推進	道徳の時間において人権に関する指導を全小中学校で実施していますが、思いやりの意識などの低下に対応するために、人権擁護委員会の活動を各学校でも取り入れていきます。	道徳の時間を核として、人権に関する指導を全小・中学校で実施	道徳の時間を核として、人権に関する指導を全小・中学校で実施	継続 「特別の教科 道徳」の時間を要に、自分と他の人の大切な存在であることが認められるような環境づくりに取り組み、その必要性に児童生徒が気付くことができるように指導する。さらには、集団生活における規範等を尊重し、地域の人々とともによりよく生きようとする態度を養う。	継続 「特別の教科 道徳」の時間を要に、自分と他の人の大切な存在であることが認められるような環境づくりに取り組み、その必要性に児童生徒が気付くことができるように指導する。さらには、集団生活における規範等を尊重し、地域の人々とともによりよく生きようとする態度を養う。	学校教育課
	キッズシアターの開催	創造的で情緒豊かな児童育成の一助として、キッズシアター（演劇教室）を開催します。	キッズシアターを実施 （期日）6月27日、28日 （参加者）市内15校の小学3～6年生	令和元年6月27日（木）28日（金）コミネス大ホールにて開催 市内小学3年生～6年生を対象に演劇を鑑賞	継続	継続	生涯学習スポーツ課
	青少年健全育成市民会議への支援	白河市青少年健全育成推進大会を主催し、また、その下部組織において、健全育成協賛金の募金活動やスポーツ活動などを行っている白河市青少年育成市民会議へ必要な支援を行います。	「白河市青少年健全育成推進大会」ほか、各地域において協賛金募金活動やスポーツ大会等を実施した。	令和元年7月8日（月）コミネス大ホールにて開催 市内中学2年生を対象に舞台芸術鑑賞及び「少年の主張」発表を実施した。また、青少年健全育成に貢献のあった功労者、優良団体及び善行青少年の表彰を実施した。	継続	継続	生涯学習スポーツ課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	白河市少年センター事業	少年補導員による補導活動や育成環境の浄化活動等を行うほか、関係機関との連携を深め、青少年の非行防止と健全な育成を図ります。	平成30年度、少年補導員8名 活動日数225日、活動回数346回実施	活動日数：218日 活動回数：338回 (うち通常補導281回、夜間やイベント時などの特別補導57回) 活動従事者数：延べ1,220人	継続	継続	生涯学習スポーツ課
	白河市少年補導員連絡協議会への支援	少年補導員の資質の向上を図るため、研修会を開催するほか、警察署と合同で補導活動を行うことにより、補導技術の修得を図るなどの支援に努めます。	研修会、警察署と合同で補導活動を実施して、補導活動の充実を目標に活動を行った	年に2回会議を実施し、少年補導活動の内容や実施状況について協議を行った。	継続	継続	生涯学習スポーツ課
	公民館活動の推進	小学生や親子を対象とした教室を開催し、様々な体験を通して児童の健やかな心身の発達と子育て支援に向けて活動を展開します。	中央公民館 「子どもステップ教室」年7回開催 「可愛く残そう！ベビー&キッズ手形・足形教室」年6回開催 表郷公民館 「ふるさと子ども体験塾」年6回開催 大信公民館 「わくわく少年クラブ」年7回開催 「伝統行事団子さし」を大屋小、信夫一小、信夫二小で開催 大信地域小学校児童と高齢者の「世代間交流グランドゴルフ大会」を開催 東公民館 「東子ども教室」年10回開催	■中央公民館 「子どもステップ教室」年7回開催 「可愛く残そう！ベビー&キッズ手形・足形教室」年5回開催 ■表郷公民館 「ふるさと子ども体験塾」年5回開催 ■大信公民館 「わくわく少年クラブ」年6回開催 「伝統行事団子さし」を大屋小、信夫一小、信夫二小で開催 大信地域小学校児童と高齢者の「世代間交流グランドゴルフ大会」を開催 ■東公民館 「東子ども教室」年8回開催	継続	継続	中央公民館

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	歴史民俗資料館活動の推進	歴史民俗資料館は白河地方の通史を詳しく学べる施設を、白河集古苑は特別企画展等を行い、よりテーマを絞った展示をする施設を目指します。 今後も特別企画展や平常展示の資料の入れ替えなどを行い、文化財や収蔵資料等の活用・PRを行っています。	平成30年度 年間入館者数 歴史民俗資料館：2,462人 集古苑（現・小峰城歴史館）：10,130人	令和元年度 年間入館者数 歴史民俗資料館：1,661人 小峰城歴史館：25,842人	継続	継続	文化財課
	屋内遊具施設の設置	アナビススポーツプラザ内に設置した遊び場の利用を促進し、親子のストレス解消と子どもの心身の健全育成を図ります。また、中心市街地市民交流センター（マイタウン白河）内に整備した、木育と知育をコンセプトとした屋内遊び場「わんぱーく」により、子どもたちの健康の増進及び健やかな心の発達を育みます。	施設：アナビススポーツプラザ 年間利用者数38,793人 ◎キッズルーム19,692人	○施設：アナビススポーツプラザ 年間利用者数34,657人 ◎キッズルーム16,320人 ○施設：屋内遊び場「わんぱーく」 年間利用者数 15,422人 イベント（読み聞かせ・おもちゃづくり等）参加者 336人	継続	継続	生涯学習スポーツ課 まちづくり推進課
	芸術文化活動の推進	白河文化交流館を拠点に、芸術文化に関するワークショップやアウトリーチなど、参加体験型の事業を積極的に行い、小さいうちから気軽に芸術文化に触れ親しめる機会の拡充を図ります。	継続	継続	継続 引き続き、白河文化交流館「コミネス」を活用し、子どもたちが気軽に質の高い音楽に触れる機会を創出するなど、日常的に芸術文化に触れ親しむ機会の拡充を図る。	継続 引き続き、白河文化交流館「コミネス」を活用し、子どもたちが気軽に質の高い音楽に触れる機会を創出するなど、日常的に芸術文化に触れ親しむ機会の拡充を図る。	文化振興課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	わ～くわく！キッズ☆カルチャースクールの開催	夏休み期間中に子ども達に芸術文化に触れる機会を提供し、芸術文化への関心の涵養とともに、子ども達の感性や創造性を育み、豊かな人間性を醸成します。	・実施日 開講式：7月29日（日） 教室：夏休み期間中1～2回 ・教室 全15教室 ・来場者数：開校式200名	・実施日 開講式：7月28日（日） 教室：夏休み期間中1～2回 ・教室 全13教室 ・来場者数：開校式150名	継続 引き続き、「わ～くわく！キッズ☆カルチャースクール」を夏休み期間中に開催する予定。	令和元年度で廃止	文化振興課
（5） 経済的 支援の 充実	保育料の無償化	3歳から5歳までの幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する子供たち及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子供たちの利用料を無償化します。		新規		新規	こども育成課
	児童手当の支給	次代を担う子どもの健やかな成長を支援するため、中学校終了までの子どもを養育している者に手当を支給します。	受給者 4,470人 支給額 984,725千円	受給者 4,315人 支給額 952,335千円	継続	継続	こども支援課
	こども医療費助成事業	乳幼児医療費及び小学生医療費を統合したこども医療費助成は、平成24年7月から中学3年生、同年10月から18歳まで対象者を拡大しました。今後は、窓口負担の無料化の地域拡大を図ります。	助成額 284,716千円	助成額 264,582千円	継続	継続	こども支援課
	白河っ子すくすく赤ちゃんクーポン支給事業【新規】	保護者の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができるよう、白河市に住民登録があり、平成30年4月1日以降に誕生した0歳児の保護者に対し、おむつなどの購入に使用できるクーポン券を支給します。	交付実績（対象児） 408人	交付実績（対象児） 837人	拡充 1歳児についても、1人当たり30,000円分のクーポン券（2,500円券×12枚）を支給する。対賞品に、指定ごみ袋（燃えるごみ袋）を追加。	拡充 対賞品に離乳食、離乳食用調理器具、乳幼児用食器を追加。	こども支援課
	就学援助事業	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、給食費等の就学援助費を支給します。	就学援助費 ・小学校 30,102千円 ・中学校 34,991千円 特別支援教育就学奨励費 ・小学校 2,410千円 ・中学校 797千円	就学援助費 ・小学校 28,683千円 ・中学校 39,722千円 特別支援教育就学奨励費 ・小学校 2,195千円 ・中学校 1,353千円	継続	継続	学校教育課
奨学資金貸与事業 入学一時金貸与事業	経済的な理由により修学が困難と認められる生徒・学生に対する奨学資金の貸与と、保護者に対する入学一時金の貸与により経済的支援を行います。	奨学資金貸付 53人、28,080千円 入学一時金貸付 3人、2,100千円 奨学資金給付 10人、4,560千円	奨学資金貸付 46人、24,840千円 入学一時金貸付 5人、3,500千円	継続 人材育成と教育の機会均等を確保する観点から、修学の意思と能力を有しながら、経済的理由により修学困難な高等学校や専門学校、短期大学、大学に在学している生徒・学生等に対して、引き続き経済的支援を行う。	継続 人材育成と教育の機会均等を確保する観点から、修学の意思と能力を有しながら、経済的理由により修学困難な高等学校や専門学校、短期大学、大学に在学している生徒・学生等に対して、引き続き経済的支援を行う。	教育総務課	

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	多子世帯給食費負担軽減事業	子育てしやすい環境を充実させるため、18歳以下の兄弟姉妹のうち義務教育を受けている第3子以降の児童生徒を対象に学校給食費を全額助成し、多子世帯における経済的な負担軽減を図ります。		対象者数、助成額 小学生 273人 12,485千円 中学生 43人 2,221千円	新規	継続	健康給食推進室
(6) ひとり親家庭への支援	ひとり親家庭ジョブサポート事業	ひとり親家庭の親に対して生活の安定と自立のために寄り添う「就業支援専門員」を配置し就業支援体制を確保します。	ハローワーク白河と契約し就業支援 ・児童扶養手当受給者の就労支援対象者数 21人	ハローワーク白河と契約し就業支援 ・児童扶養手当受給者の就労支援対象者数 15人	継続	継続	こども支援課
	母子家庭等の親への自立、就業支援	平成25年度から高等技能訓練費及び教育訓練給付費支給し、母子家庭等の自立支援を促進しています。また、今後もハローワーク白河と契約し、ひとり親家庭の就業支援を実施します。	・高等職業訓練促進給付金事業 10人 ・自立支援教育訓練給付金事業 3人	・高等職業訓練促進給付金事業 5人 ・自立支援教育訓練給付金事業 4人	継続	継続	こども支援課
	ひとり親家庭への相談対応の推進	ひとり親家庭における児童の健全な育成を支援するため、現在は、家庭児童相談員が対応しているが、担当のケースワーカーの設置も検討します。	継続	継続	継続	継続	こども支援課
	児童扶養手当の支給	児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るため手当を支給します。	受給者数 640人	受給者数 598人	継続 平成31年4月分から額改定 全部支給 42,500円→42,910円 一部支給 42,490円～10,030円→42,900円～10,120円 第2子加算額 全部支給 10,040円→10,140円 一部支給 10,030円～5,020円→10,130円～5,070円 第3子加算額改定 全部支給 6,020円→6,080円 一部支給 6,010円～3,010円→6,070円～3,040円	継続 令和2年4月分から額改定 全部支給 42,910円→43,160円 一部支給 42,900円～10,120円→43,150円～10,180円 第2子加算額 全部支給 10,140円→10,190円 一部支給 10,130円～5,070円→10,180円～5,100円 第3子加算額改定 全部支給 6,080円→6,110円 一部支給 6,070円～3,040円→6,100円～3,060円	こども支援課
	母子・父子・寡婦福祉資金貸付	ひとり親家庭の経済的自立と児童の福祉の増進を図るため、目的に応じて、原則無利子で資金を貸し付けます。	年間貸付件数 2件	年間貸付件数 0件	継続	継続	こども支援課
	ひとり親家庭医療費助成事業	ひとり親家庭等の健康と福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成します。	助成額 14,227千円	助成額 11,757千円	継続	継続	こども支援課
	ひとり親家庭キャリアアップ応援給付事業	ひとり親家庭の親が、看護師や介護福祉士等の資格を取得するため、養成機関で修業する場合に、修業期間中の生活費の負担軽減を図るため、給付金を支給します。	受給者数 3人	受給者数 5人	継続	継続	こども支援課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	ひとり親家庭 キャリアアップ 応援貸付事業	資格取得のために養成機関で修業中のひとり親家庭の親に対し、生活費月5万円（子どもの人数による加算有り）を貸し付けるとともに、修業終了後、一定の条件を満たした場合にはその返還を免除し、経済的自立を支援します。	貸付人数 7人	貸付人数 5人	継続	継続	こども支援課
	ひとり親家庭等 自立支援教育訓 練給付金事業	ひとり親家庭の親が経済的自立を図るために、対象講座を受講し、修了した場合に受講費用の一部を助成します。	受給者数 6人	受給者数 4人	継続	継続	こども支援課
	ひとり親家庭高 等学校卒業程度 認定試験合格支	ひとり親家庭の親又は子どもが、就職・転職によって、自立や生活の安定を図るため、高等学校卒業程度認定試験合格を目指す講座を受講する場合に、その受講費用の一部を助成します。	継続	継続	継続	継続	こども支援課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
(1) 多様な働き方の実現や男性を含めた働き方の見直し	性別役割分担意識の見直し	性別役割分担意識等を解消するための各種研修会への参加を促進し、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりを進め、性差のない職場づくりやワーク・ライフ・バランスの推進に努めます。	継続	令和元年11月9日(土) 女性のキャリア形成事業として、講演会及びワークショップの実施	継続 引き続き、ワークライフバランス等の意識の啓発を行っていく。	継続 引き続き、ワークライフバランス等の意識の啓発を行っていく。	生涯学習スポーツ課
	一般事業主行動計画策定の推進	次世代育成支援対策推進法では、事業主に対して、一般事業主行動計画の策定に努めることとしています。これを踏まえ、市内企業における一般事業主行動計画の策定を推進するため、関係機関を通じて次世代育成支援対策推進法の周知・啓発を行います。	継続	継続	継続	継続	こども支援課
	国、県及び関係団体（農業団体、商工団体等）との連携	多様な働き方の実現や男性を含めた働き方の見直しを促進するため、労働者、事業主、地域住民等の意識の醸成を図るための広報・啓発、研修、情報提供等について、国、県、関係団体等と連携を図りながら推進します。	継続	継続	継続	継続	関係各課
	国、県及び関係団体（農業団体、商工団体等）との連携	少子高齢化や人口減少を背景とした労働者不足の解消及びライフワークバランスの向上を図るため、子育てや在宅介護等により働きたくても働けない女性等に対し、新たな働き方として「クラウドソーシング」を活用し、推進するものです。	継続	継続	継続	新規 ・クラウドワーカー育成事業（クラウドソーシングを知るセミナー）や女性活躍推進セミナー開催事業（女性のライフステージに応じたセミナー）の実施。	商工課
(2) 仕事と子育ての両立の推進	仕事と子育ての両立のための啓発・広報の推進	男女雇用機会均等法、労働基準法、育児・介護休業法等に関して、機関誌等を通じて企業・事業主等への啓発に努めるとともに、市民に対する広報を行います。	継続	継続	継続 男女雇用機会均等法、労働基準法、育児・介護休業法等に関しては、法令等を所管する省庁や独立行政法人が作成する機関誌等を通じて市内企業に対し、啓発を実施していく。	継続 男女雇用機会均等法、労働基準法、育児・介護休業法等に関しては、法令等を所管する省庁や独立行政法人が作成する機関誌等を通じて市内企業に対し、啓発を実施していく。	生涯学習スポーツ課 商工課
	家庭生活での男女の相互協力の促進	出前講座のカリキュラムの充実を図り、家庭生活での男女共同参画について、啓発と理解を深める機会の提供を図ります。	男女共同参画についての講座希望は無かった。	男女共同参画についての講座希望は無かった。	継続	継続	生涯学習スポーツ課
	国、県及び関係団体との連携	今後も国、県及び地域における関係団体等と連携を図りながら、仕事と子育ての両立支援のための体制の整備、関係法制度等の広報・啓発、情報提供等について推進します。	女性のためのブチ起業セミナーを実施	女性のためのブチ起業セミナーを実施	継続 ・「女性のためのブチ起業セミナー」の開催などの「起業家支援」を実施していく。	継続 ・「女性のためのブチ起業セミナー」の開催などの「起業家支援」を実施していく。	商工課
(3) 次世代の親の育成	家庭における男女平等教育の推進	家庭における男女平等教育の充実を図り、男女共同参画についての啓発と理解を深める機会の提供を図ります。	男女共同参画講演会に代えて、第17回福島県男女共生のつどいを本市開催。	令和元年11月9日(土) 女性のキャリア形成事業として、講演会及びワークショップの実施 令和元年11月30日(土) 男女共同参画講演会開催	継続 男女共同参画講演会を開催する。	継続 男女共同参画講演会を開催する。	生涯学習スポーツ課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	学校における男女平等教育の推進	道徳の時間において全小中学校で実施し、自他の尊重や自尊心を高めることを目標に、今後も指導に力を入れます。	「特別の教科 道徳」の時間を要とし、学校の教育活動全体を通じて実施	「特別の教科 道徳」の時間を要とし、学校の教育活動全体を通じて実施	継続 「特別の教科 道徳」の時間を要として、学校の教育活動全体を通じて、個に応じた指導ができるようにする。	継続 「特別の教科 道徳」の時間を要として、学校の教育活動全体を通じて、個に応じた指導ができるようにする。	学校教育課
	地域における男女平等学習の推進	出前講座等を通して、広く市民に地域における男女平等（男女共同参画）について周知を図ります。	継続	男女共同参画についての講座希望は無かった。	継続 男女共同参画社会の実現のために、バイキング講座、出前講座等を通して、広く市民に講座の周知を図り男女共同参画に努めたい。	継続 男女共同参画社会の実現のために、バイキング講座、出前講座等を通して、広く市民に講座の周知を図り男女共同参画に努めたい。	生涯学習スポーツ課 中央公民館
(4) 雇用の安定の推進	性別役割分担意識の見直し【再掲】	性別役割分担意識等を解消するための各種研修会への参加を促進し、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりを進め、性差のない職場づくりやワーク・ライフ・バランスの推進に努めます。	継続	令和元年11月9日(土)女性のキャリア形成事業として、講演会及びワークショップの実施	継続 引き続き、ワークライフバランス等の意識の啓発を行っていく。	継続 引き続き、ワークライフバランス等の意識の啓発を行っていく。	生涯学習スポーツ課
	国、県及び関係団体（農業団体、商工団体等）との連携【再掲】	多様な働き方の実現や男性を含めた働き方の見直しを促進するため、労働者、事業主、地域住民等の意識の醸成を図るための広報・啓発、研修、情報提供等について、国、県、関係団体等と連携を図りながら推進します。	継続	継続	継続	継続	関係各課
(5) 子育て中の保護者・子ども同士の交流の促進	育児支援事業	育児に関する情報提供や教室を開催し、母親同士の仲間づくり、栄養や育児の相談などを行い、母親が孤立して育児不安に陥らないよう子育てを支援します。	すくすく広場 12回 188人 離乳食相談会 23回 48人	すくすく広場 11回 246人 離乳食相談会 28回 52人	継続	継続	こども支援課
	子育てサロン推進事業	子育てを楽しめる環境づくりを促進するため、未就学児及びその保護者が気軽に集い交流し、仲間づくりを行う場を運営する団体に対し、その費用の一部を助成します。	継続	継続	継続	継続	こども支援課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
(1) 良好かつ良質な住宅及び居住環境の確保	市街地の整備	既存の都市基盤を有効に活用しながら、生活者の視点に立った安心して暮らしやすい市街地の整備を推進します。	継続	継続	継続	継続	都市計画課 建築住宅課
	宅地開発の誘導	自然環境との調和や景観等に配慮した秩序ある市街地を形成するため、適正な宅地開発の誘導を図ります。	継続	継続	継続	継続	都市計画課 建築住宅課
	公営住宅の整備	安全確保や居住性の向上を図る整備を行い、長寿命化を図ることで、居住水準の高い、機能の充実した市営住宅のストックに努めます。	継続 外面市営住宅の電源容量改修工事	継続 石久保市営住宅の電源容量改修工事 金山市営住宅などの外壁等改修工事	継続 石久保市営住宅の電源容量改修工事 金山市営住宅などの外壁等改修工事	継続 市営住宅揚水ポンプ取替（松風1・3・関川窪7号）市営住宅外壁改修工事（石切場3・4号棟）	建築住宅課
	人にやさしいまちづくりの推進	すべての市民が安全かつ快適に暮らすことができるよう各種施設や交通機関の整備を民間事業者などの協力により計画的に推進します。	継続	継続	継続	継続	関係各課
	居住環境の整備	既存市街地内の狭い道路や歩道の整備に努めるほか、住民の合意に基づく建築協定や緑地協定の有効活用を図り、安全で安心して暮らせる質の高い居住環境の創出に努めます。	継続	継続	継続	継続	都市計画課 道路河川課 建築住宅課
	公園の整備充実	子どもたちの日常的な遊び場となる魅力ある公園や城山公園及び南湖公園などの史跡を活かした公園の整備充実を図るとともに、日常的に安心して利用できるよう適切な維持管理を行います。	一里段公園遊具更新工事 稲荷山公園遊具更新工事 友月山公園遊具更新工事 双石公園遊具更新工事	高山西公園遊具更新工事 大信総合運動公園遊具更新工事	継続 今後、市街化の集積状況を考慮しながら、住区基幹公園等の配置を検討するとともに、大規模開発に対する適切な指導、拠点集落地への公園の配置を図り、住環境の向上を目指す。	継続 今後、市街化の集積状況を考慮しながら、住区基幹公園等の配置を検討するとともに、大規模開発に対する適切な指導、拠点集落地への公園の配置を図り、住環境の向上を目指す。	都市計画課 文化財課
	公園緑地の保全	市民が日常的に集う公園や緑地などを良好な状態で市民に提供するには、ボランティア等市民の協力も必要ことから、新たなボランティア等支援組織の発掘及び育成とともに、併せて環境の充実に努めます。	継続	継続	継続 多くの市民が集う魅力あふれる公園や緑地施設に供し、維持管理水準を高めるために既存のボランティア活動に限らず、新たなボランティア活動の発掘と育成づくりに努めていく必要がある。	継続 多くの市民が集う魅力あふれる公園や緑地施設に供し、維持管理水準を高めるために既存のボランティア活動に限らず、新たなボランティア活動の発掘と育成づくりに努めていく必要がある。	都市計画課
	歴史と自然を活かした魅力ある景観形成	条例や景観計画、景観形成ガイドラインに基づき適切な景観規制誘導を図ります。また、歴史的風致形成建造物の保存修景や、景観に配慮した建築物等の整備について、補助制度の有効な活用を促し、良好な景観形成を図ります。	継続	歴史的風致形成建造物保存修景事業 5件（うち4件は次年度へ繰越） 歴史的まちなみ修景事業 4件	継続 条例や景観計画、景観形成ガイドラインに基づき適切な景観規制誘導を図るとともに、歴史的建造物補助やまちなみ修景補助の有効な活用を促し、良好な景観形成を図っていく。	継続 条例や景観計画、景観形成ガイドラインに基づき適切な景観規制誘導を図るとともに、歴史的建造物補助やまちなみ修景補助の有効な活用を促し、良好な景観形成を図っていく。	都市計画課 まちづくり推進課
(2) 安全・安心に外出できるやさしいまちづくりの確保	公共施設等のバリアフリー化の推進	公共施設建設・改修などにおいて、今後も引き続きバリアフリー化を図ります。	集会所建設などの公共施設等においてバリアフリー化を実施	集会所建設などの公共施設等においてバリアフリー化を実施	継続	継続	建築住宅課
生活道路の整備	老朽化の激しい路線や舗装等の必要な道路については、全体的な生活関連道路網への影響を考慮しながら整備を図ります。	継続	年次計画により整備した。	継続	継続	道路河川課	
歩行者用道路の整備	歩行系ネットワークの確立と歩行者の安全確保のため整備を継続します。	継続	継続	継続	継続	都市計画課 道路河川課	

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
定期 推進	交通安全施設の整備	交通事故が発生しやすい場所については、道路改良工事等により整備を図っていきます。信号機やカーブミラーなどの設置については、今後とも関係機関と協議を進め実施します。	警察署及び各地区交通安全協会と協議	カーブミラーの設置、区画線の引き直しを実施した。	警察署及び各地区交通安全協会と協議	継続	道路河川課 生活防災課
	総合交通規制の充実	地域の実態に即した交通規制について、関係機関と協議を進め実施します。	警察署と協議	警察署と協議	継続	継続	生活防災課
	地域防犯組織の充実	地域の防犯組織の育成・強化を図るとともに、活動を支援します。	白河市防犯協会を支援	白河市防犯協会を支援	継続	継続	生活防災課
	防犯意識の啓発	市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るため、防犯診断や広報誌による普及・啓発に努めます。	継続 防犯協会と連携しデジタルサイネージを使用した広報啓発活動実施	継続 防犯協会と連携しデジタルサイネージを使用した広報啓発活動実施	継続 時期・情勢に見合った情報に更新する。	継続 時期・情勢に見合った情報に更新する。	生活防災課
	街路灯の設置	犯罪を未然に防止し、安全な環境を創出するため、街路等の計画的な設置や適正な管理に努めます。	継続	市内の街路灯については、令和元年度LEDへ更新を図った。	継続	継続（維持管理は、業務委託により民間事業者が、適切に実施します。）	道路河川課
	交通安全意識の啓発	市内小学生に対する交通安全鼓笛パレードや交通安全ポスター・標語コンクールを実施し、交通安全に対する意識の高揚を図ります。	交通安全鼓笛パレード及び交通安全ポスター・標語コンクールを実施	交通安全鼓笛パレード及び交通安全ポスター・標語コンクールを実施	継続	継続 新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施は中止。	生活防災課
	(3) 子どもを交通事故から守るための活動の推進	交通安全の推進	交通安全は、一人ひとりがその大切さに「気付く」ことが重要であると考えます。その「気付き」のきっかけ作りとして、各交通安全運動を中心に、啓発活動を継続して実施します。	各期交通安全運動時に啓発	各期交通安全運動時に啓発	継続	継続
今後も交通安全に関するルールの周知や交通安全教室を全小中学校及び幼稚園等で開催することにより、親子で交通安全を考える機会をつくります。			全小・中学校で交通安全教室を実施	全小・中学校で交通安全教室を実施	継続 各小・中学校で年2回実施	継続 各小・中学校で年2回実施	学校教育課
職員の指導力の向上等		地域の実情に即した交通安全教育を推進するため、交通安全教育にあたる職員の指導力の向上及び地域における民間の指導者の育成に努めます。 また、見守り隊、交通安全指導員とともに交通安全に関する指導の機会に参加をします。	職員会議に研修の場を設定し、職員の指導力の向上に努めた。	職員会議に研修の場を設定し、職員の指導力の向上に努めた。	継続 職員会議の場を活用して研修の機会を位置づける。見守り隊の活動を支援する。	継続 職員会議の場を活用して研修の機会を位置づける。見守り隊の活動を支援する。	学校教育課
			チャイルドシートの正しい使用の徹底	チャイルドシートの正しい使用の徹底を図るため、チャイルドシートの使用効果及び使用方法について普及啓発活動を幼稚園等にて展開します。	各期交通安全運動時に啓発	各期交通安全運動時に啓発	継続

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	通学路の合同点検事業	通学路の安全確保に向けた取組を行うために、「白河市通学路交通安全プログラム」により、関係機関が連携し合同で点検する機会を設け、問題点の解決に努めます。	継続	継続	継続	継続	生活防災課 道路河川課 学校教育課
(4) 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	自主防犯活動の促進	住民の自主防犯活動を促進するため、少年補導員等と犯罪等に関する情報の共有に努めます。	防犯協会と連携	防犯協会と連携	継続	継続	生活防災課
			不審者情報とそれに対する対策について、適宜速やかに幼稚園、小・中学校に通知した。	不審者情報とそれに対する対策について、適宜速やかに幼稚園、小・中学校に通知した。	継続 情報を速やかに各学校に伝え、児童生徒に指導するとともに保護者へ伝えるよう体制を整える。	継続 情報を速やかに各学校に伝え、児童生徒に指導するとともに保護者へ伝えるよう体制を整える。	学校教育課
			少年センターと連携。	少年センターと連携。	継続 今後とも、少年補導員等との情報の共有化を図り非行防止と健全育成に努めたい。	継続 今後とも、少年補導員等との情報の共有化を図り非行防止と健全育成に努めたい。	生涯学習スポーツ課
	関係機関・団体との情報交換	子どもを犯罪等の被害から守るため、関係機関・団体と不審者情報等の速やかな情報共有に努めます。	少年補導員と連携し情報提供	少年補導員と連携し情報提供	継続	継続	生活防災課 学校教育課
			市内小・中・高校、県南教育事務所、少年センターと連携。	市内小・中・高校、県南教育事務所、少年センターと連携。	継続 今後とも、関係機関との情報の共有化を図り非行防止と健全育成に努めたい。	継続 今後とも、関係機関との情報の共有化を図り非行防止と健全育成に努めたい。	生涯学習スポーツ課
	パトロール活動の推進	PTA等の学校関係者や防犯ボランティア等の地域団体、関係機関と連携し、学校付近や通学路等においてパトロール活動を実施します。	防犯協会と連携	防犯協会と連携	継続	継続	生活防災課
			見守り隊の活動を実施	見守り隊の活動を実施	継続 全小学校区で実施しているので、維持するとともに、適宜、新たに協力を求める。	継続 全小学校区で実施しているので、維持するとともに、適宜、新たに協力を求める。	学校教育課
			少年補導員によるパトロールを実施	少年補導員によるパトロールを実施	継続 今後とも、関係機関との情報の共有化を図り非行防止と健全育成に努めたい。	継続 今後とも、関係機関との情報の共有化を図り非行防止と健全育成に努めたい。	生涯学習スポーツ課
	防犯講習の実施	子どもが犯罪等に遭わないようにするための防犯教室を継続して実施します。	防犯協会と連携	防犯協会と連携	継続	継続	生活防災課
			防犯教室は全小中学校で実施	防犯教室は全小中学校で実施	継続 防犯教室は全小・中学校で実施しているため、内容を工夫するよう各学校へ働きかける。	継続 防犯教室は全小・中学校で実施しているため、内容を工夫するよう各学校へ働きかける。	学校教育課
地域の要望に応じて、出前講座等を活用し、防犯意識を高めるための機会を提供した。			地域の要望に応じて、出前講座等を活用し、防犯意識を高めるための機会を提供した。	継続 今後とも、関係機関との情報の共有化を図り非行防止と健全育成に努めたい。	継続 今後とも、関係機関との情報の共有化を図り非行防止と健全育成に努めたい。	生涯学習スポーツ課	

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	「ひなんの家」等防犯ボランティア活動の支援	子どもが危険を感じた時や困ったことが起きた時の緊急避難場所である「ひなんの家」へのさらなる協力を依頼するとともに、視認性を高めるために古いステッカーの更新に努めます。	現在の「ひなんの家」ステッカー協力者一覧の更新を行った。	要望に応じ、避難の家ステッカーを配布する。	継続 今年度、「ひなんの家」ステッカーを作成し、現在古くなっているステッカーの更新を行うとともに、更なる協力を促す。	継続 今年度、「ひなんの家」ステッカーを作成し、現在古くなっているステッカーの更新を行うとともに、更なる協力を促す。	生涯学習スポーツ課
(5) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進	子どもや保護者に対する教育・啓発の推進	保育園、幼稚園、小・中学校、高等学校それぞれのPTAが、メディアコントロールの推進に重点的に取り組んでおり、今後さらにメディアコントロールの普及・拡大に向けて取組の強化に努めます。	ノーマイ推進黨の取組をPTA組織を母体として実施している	メディアコントロールの取組をPTA組織を母体として実施している	継続 現在、幼・小・中・高PTAの集いにて、重点的に実施しているノーマディアに関する取組みについて、現在の社会状況を踏まえ、今後はインターネットを通じた様々なツールと上手く付き合っていくことを主眼として、ノーマディアからメディアコントロールへ変え、今後も継続して行く。	継続 現在、幼・小・中・高PTAの集いにて、重点的に実施しているノーマディアに関する取組みについて、現在の社会状況を踏まえ、今後はインターネットを通じた様々なツールと上手く付き合っていくことを主眼として、ノーマディアからメディアコントロールへ変え、今後も継続して行く。	生涯学習スポーツ課
			各学校で毎週1回ノーマディアを実施。また、中学校区で講演会等を実施。	各学校で毎週1回ノーマディアを実施。また、中学校区で講演会等を実施。	継続 スマートフォン、ゲーム機等の使用について、年間を通して、コントロールできるよう働きかける。	継続 スマートフォン、ゲーム機等の使用について、年間を通して、コントロールできるよう働きかける。	学校教育課
			7月の強調月間に併せて活動を行った	7月の強調月間に併せて活動を行った	継続 今後も引き続き、街頭啓発活動等を行い犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について、理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない社会の実現を目指す。	継続 今後も引き続き、街頭啓発活動等を行い犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について、理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない社会の実現を目指す。	生涯学習スポーツ課
	環境浄化活動の促進	青少年の健全育成に好ましい環境の実現に向けて、有害環境の排除・浄化に努めます。	少年補導員によるパトロールを実施	少年補導員によるパトロールを実施	継続 引き続き、白河市少年センター条例並びに青少年の実態を踏まえ、かつ青少年を取り巻く社会環境の現状を考慮し、有害環境の排除浄化に努める。	継続 引き続き、白河市少年センター条例並びに青少年の実態を踏まえ、かつ青少年を取り巻く社会環境の現状を考慮し、有害環境の排除浄化に努める。	生涯学習スポーツ課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
(1) 子どもや母親の健康の確保	母子健康手帳の交付	妊娠、出産、子どもの成長記録としてすべての親子が活用できるよう、母子健康手帳を中央保健センター、総合窓口、各庁舎で随時窓口交付します。交付に際しては、母子健康手帳の使い方、説明、市保健事業の紹介、妊娠中の生活についての指導、妊婦健康診査受診票の使い方、子ども医療費助成制度及び児童手当の手続きの説明を行います。	423人	384人	継続	継続	こども支援課
	父子健康手帳の交付	父親の育児参加を促すため、育児に関する基本やこどものこころと体の発達等が記載されている父子健康手帳を、母子健康手帳とあわせて交付します。	412人	379人	継続	継続	こども支援課
	妊産婦健康診査	妊娠、出産後の母体の健康状態を診査するため、妊娠中15回、産後1回分の受診票を母子健康手帳交付時に配付します。また、里帰り出産など県外で妊産婦健康診査を受ける者に対し、費用を助成します。	妊婦 462人 延べ 5131回 産婦 438人 延べ 438回	妊婦 632人 延べ 4255回 産婦 354人 延べ 354回	継続	継続	こども支援課
	新生児聴覚検査	聴覚障害の早期発見、早期療育を図るため、検査にかかる費用について公費負担を行い、受診者の経済的負担の軽減を図ります。	検査 421人	検査 358人	継続	継続	こども支援課
	産後ケア事業	若年妊婦や生活体験の、未熟等により育児に知識や技術が不足している産婦に対し、産後ケアサービス（宿泊ケア・日帰りケア）を提供することにより、自信を持って育児が行えるように支援し、子供が産み育てられる環境づくりの一助とします。	産後ケア事業 日帰りケア 2件 宿泊ケア 2件	産後ケア事業 日帰りケア 10件 宿泊ケア 4件	継続	継続	こども支援課
	パパママ講座	初妊婦と家族などを対象に、安全な妊娠・出産の経過と、母性・父性の育成により健やかに子どもを生み育てることができるように支援することを目的に、土曜日コースとして開催します。	4回 98人	3回 77人	継続	廃止 医療機関での同様の教室にも参加していることや子育てに関する複雑多様化したニーズには集団でなく個別対応していく事が必要とされていることから見直した。	こども支援課
	乳幼児全戸訪問（こにちは赤ちゃん訪問）事業	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行います。	訪問件数 437件	訪問件数 376件	継続	継続	こども支援課
	養育支援訪問事業	こにちは赤ちゃん訪問事業実施後、引き続き養育支援が必要な家庭を訪問し、相談、助言、指導を行います。	年間延べ利用者数 23人	年間延べ利用者数 24人	継続	継続	こども支援課
	乳幼児健康診査	乳幼児の健康の保持増進及び病気の早期発見、治療のために、4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児を対象にした健康診査を行います。また、事後対策としては、要継続支援児を把握し、適切なフォローを行うとともに、未受診児に対しては、電話・文書・訪問により受診を勧めます。	受診数 4ヶ月 428人 1歳 439人 1.6ヶ月 471人 2歳 481人 3歳 486人	受診数 4ヶ月 408人 1歳 448人 1.6ヶ月 428人 2歳 433人 3歳 467人	継続	継続	こども支援課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	乳幼児家庭訪問	育児不安がある親や各種健診、相談後に継続支援が必要な乳幼児に対し、定期的に訪問指導を行います。また、乳幼児健診の未受診児に対し親等へ健診の必要性について理解を促し、受診を勧めます。	種別 延べ件数 妊産婦 462件 乳児 12件 (赤ちゃん訪問を除く) 幼児 160件	種別 延べ件数 妊産婦 446件 乳児 79件 (赤ちゃん訪問を除く) 幼児 153件	継続	継続	こども支援課
	母子健やか支援事業	乳幼児をもつ親等を対象に、親が安定して健全な育児ができるよう、育児についての知識の普及と育児不安や負担の軽減を図るために、子育て教室や栄養・育児相談などを通じて子育てを支援します。	わくわく子育て教室 3回 89人 心理相談 37回 100人 ことばの相談 12回 43人	心理相談 48回 100人 ことばの相談 12回 47人	継続		こども支援課
	予防接種事業	感染の恐れがある疾病の発生及びまん延予防などを目的に、乳幼児や児童生徒を対象に予防接種を実施します。 定期予防接種に加え、ロタウイルス、おたふくかぜの予防接種の費用を助成します。 また、妊娠を希望する方やその夫を対象に風しんの予防接種の費用を助成します。	延べ人数 三種混合 0名 四種混合 1,761名 二種混合 454名 ポリオ単独 12名 日本脳炎 2,106名 ヒブ 1,747名 小児用肺炎球菌 1,749名 水痘 890名 麻疹風しん 867名 BCG 421名 B型肝炎 1,290名 ロタウイルス 815名 おたふくかぜ 498名	延べ人数 三種混合 0名 四種混合 1,682名 二種混合 436名 ポリオ単独 2名 日本脳炎 2,173名 ヒブ 1,546名 小児用肺炎球菌 1,597名 水痘 839名 麻疹風しん 930名 BCG 425名 B型肝炎 1,188名 ロタウイルス 744名 おたふくかぜ 461名 中学3年生インフルエンザ 374名 妊娠希望者等風しん 77名	新規 中学3年生を対象に、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。 その他継続	継続 ロタウイルスワクチンについては、任意接種として一部費用助成で実施していますが、令和2年10月1日より定期接種となります。(対象児：令和2年8月1日生まれ以降の乳児)	健康増進課
	口腔の健康管理	フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口事業や歯科衛生士の活用を図り、口腔の健康管理に理解を深め実践につなげます。	フッ化物洗口実施校 ：小学校 13校 ：中学校 6校	フッ化物洗口実施校 ：小学校 13校 ：中学校 6校	継続 全校実施に向け、さらに取り組みを進める。	継続 全校実施に向け、さらに取り組みを進める。	こども支援課
	育児支援事業【再掲】	育児に関する情報提供や教室を開催し、母親同士の仲間づくり、栄養や育児の相談などを行い、母親が孤立して育児不安に陥らないよう子育てを支援します。	継続	継続	継続	継続	こども支援課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	母と子の健康づくり行事予定表の作成	住民へ分かりやすく母子保健事業関係の情報提供を行うため、母子保健事業の年間計画などを掲載した母と子の健康づくり行事予定表を作成し、配布します。	行事予定表を作成し配布。	行事予定表を作成し配布。	継続	継続	こども支援課
	子育てサロン推進事業【再掲】	子育てを楽しめる環境づくりを促進するため、未就学児及びその保護者が気軽に集い交流し、仲間づくりを行う場を運営する団体に対し、その費用の一部を助成します。	継続	継続	継続	継続	こども支援課
	子育てスキルアップ事業	子育てに大切な基本的な生活リズムや愛着形成の促進、メディアコントロールについての意識の醸成を図るため母子手帳交付時や妊婦・乳幼児健診時での助言や集団指導、子育て教室や幼稚園・保育園等での保護者向け講演会を実施します。	わくわく子育て教室 3回 89人	わくわく子育て教室 3回 101人 乳幼児健診時集団教育 21回 1932人 園児保護者向け講演会 5回 154人	拡充（10月から開始）	継続	こども支援課
(2) 「食育」の推進	乳幼児の栄養指導	乳幼児健康診査や育児支援事業において、離乳食・栄養指導の充実を図り、幼児食へのスムーズな移行と月齢に応じた食生活を支援します。 また、生活リズムや「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを周知します。	【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】	こども支援課
	保育園給食の充実	入園児童の健全な発育と食の習慣、知識を学ぶ食育の教育的な役割を持つ保育園給食の充実を図ります。入園児童が楽しく食事をとれるよう献立を工夫し、食育指導も積極的にを行います。	実施済	継続	継続	継続	こども育成課
	学校給食の充実	適切な栄養の摂取による健康の保持増進と体位の向上、生涯を通じて健康な生活を送るために、子どもの頃から体によい食べ物を選べる力を育て、食事について正しい理解と望ましい食習慣を養えるようにします。	継続	継続	継続	継続	健康給食推進室
	食育指導	幼稚園、保育園を訪問し、正しい栄養の摂り方、望ましい生活習慣等が身につくよう支援します。	回数 18回 受講数 831人	回数 17回 受講数 797人	継続	継続	こども支援課
(3) 思春期保護対策の充実	心の健康に関する情報提供・知識の普及	各学校において心の健康づくりを一層推進していくために情報の提供を行います。	校長会等において心の健康づくりに関する情報を提供し、意識化を図った。	校長会等において心の健康づくりに関する情報を提供し、意識化を図った。	継続	継続	学校教育課 学校
	スクールカウンセラー配置事業【再掲】	市配置のスクールカウンセラーを増員し、県配置をあわせ、全ての小中学校にスクールカウンセラーを配置します。	【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】	学校教育課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	ピアカウンセリングの実施	先行的に取り組んでいる学校の事例を小中学校に広め、より多くの学校で実践できるようにします。生徒指導主事研修会での事例発表会など啓発の機会として活かします。 (※ピアカウンセリングとは、同じ背景を持つ人同士が対等な立場で話し合うことです。ピアとはここでは仲間と言う意味。「障がいについては障がいの者こそが専門家」という考えのもとに平等かつ対等に話し合います。)	啓発の機会を増やしていくことが必要である。	啓発の機会を増やしていくことが必要である。	継続	継続	学校教育課
	「性に関する指導」の充実	性についての指導を充実させ、優れた事例については小中学校の研修の場で紹介します。	全小・中学校で養護教諭が推進者となり、計画的に実施した。	全小・中学校で養護教諭が推進者となり、計画的に実施した。	継続	継続	学校教育課 学校
	たばこの健康に及ぼす影響についての教育の推進	小学校において、たばこの健康への影響を指導していくとともに、小中連携した喫煙についての指導を養護教諭が中心となって計画的に実施します。優れた事例については小中学校の研修の場で紹介します。	全小・中学校で養護教諭が推進者となり、計画的に実施した。	全小・中学校で養護教諭が推進者となり、計画的に実施した。	継続	継続	学校教育課 学校
	アルコールの健康に及ぼす影響についての教育の推進	小学校段階でのアルコールの健康への影響を指導するとともに、小中連携した飲酒についての指導を実施します。優れた事例については小中学校の研修の場で紹介します。	全小・中学校で養護教諭が推進者となり、計画的に実施した。	全小・中学校で養護教諭が推進者となり、計画的に実施した。	継続	継続	学校教育課 学校
	薬物乱用防止教育の推進	各学校において、県南保健福祉事務所と連携し、啓発資材やビデオ及びパネル等を活用して、乱用薬物の影響に関する正しい知識の普及に努めます。	全小・中学校で養護教諭が推進者となり、計画的に実施した。	全小・中学校で養護教諭が推進者となり、計画的に実施した。	継続	継続	学校教育課
(4)	地域医療体制の整備	地域医療に関する講演会や啓発事業を実施するとともに、多様化する医療ニーズに対応するため、医師会と連携を図り、医師の確保に努め、安定的・持続的な地域医療体制の整備を図ります。	H29から健康づくり推進協議会と統合し開催 3回	健康づくり推進協議会を開催 2回 地域医療啓発事業 13回	継続	継続	健康増進課
	救急医療の充実	小児平日夜間救急医療事業や休日救急医療当番医制事業等を継続し、救急医療体制の充実を図ります。	受診延べ数 小児平日夜間救急 336名 休日当番医(小児) 2,076名	受診延べ数 小児平日夜間救急 314名 休日当番医(小児) 2,017名	継続	継続	健康増進課
	当番医等の情報提供	当番医の周知は、年間予定表や広報紙、ホームページ等で行います。	年間予定表、広報、ホームページで情報提供	年間予定表、広報、ホームページで情報提供	継続	継続	健康増進課
(5)	不妊に関する相談支援	子どもを希望しながらも恵まれない方に治療費の一部を助成します。	助成回数 54件	助成回数 47件	継続	継続	こども支援課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
(6) 子どものすこやかな発育・発達支援の充実	発達支援事業	発達の遅れ等の可能性がある乳幼児を対象に、発達支援教室の開催や、臨床心理士・言語聴覚士による相談、医師による発達相談会、保育園・幼稚園の巡回相談を実施します。	のびのび教室 3教室 実施回数 70回 参加延数 662人 心理相談 37回 100人 ことばの相談 12回 43人 発達相談会 7回 21人	のびのび教室 3教室 実施回数 70回 参加延数 673人 心理相談 48回 100人 ことばの相談 12回 47人	継続 発達相談会の回数を7回から10回に増やし相談の充実に努める。	継続 発達相談会の回数を10回から12回に増やし、さらに相談の充実に努める。	子ども支援課
	白河っ子応援事業 【再掲】	保育園・幼稚園の4歳児を対象にすこやか相談会やフォローアップ訪問を開催します。	【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】	子ども支援課
	口腔の健康管理 【再掲】	フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口事業や歯科衛生士の活用を図り、口腔の健康管理に理解を深め実践につなげます。	【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】	子ども支援課
(7) 子どもの生きる力と思いやりを育む教育の充実 ①確かな学力の向上	基礎学力向上推進事業	年3回、各小中学校の代表による学力向上推進会議を開催し、各校の足並みをそろえた取組を推進しています。市全体だけでなく、各学校の取組を個別に支援する体制を充実させることを目指します。	年3回学力向上推進会議を実施し、学力向上への意識を高めるとともに各学校の取組を紹介した。	年3回学力向上推進会議を実施し、学力向上への意識を高めるとともに各学校の取組を紹介した。	継続	継続	学校教育課
	国際理解教育の拡充	現在はALT（外国語指導助手）6名体制で英語教育の充実を図っています。小学校での英語活動への対応を工夫します。	全小・中学校へALTを配置し、英語教育の充実を図ることができた。	全小・中学校へALTを配置し、英語教育の充実を図ることができた。	継続 ALT6名と非常勤講師1名を配置し、充実を図る。	継続 ALT6名と非常勤講師1名を配置し、充実を図る。	学校教育課
	情報教育の充実	児童生徒用のコンピュータの計画的な更新を実施するとともに、教師用コンピュータの整備を進め、情報教育の充実を図ります。また、情報モラル教育の充実のための研修を積極的に進めます。	校務用のパソコンを小学校で72台、中学校で60台更新した。また、電子黒板を18台購入した。	校務用のパソコンを小学校で42台、中学校で39台更新した。また、小学校へ電子黒板を18台購入した。	継続 校務用パソコンを小学校31台、中学校40台更新する。また、電子黒板を18台購入する。さらに、継続して、ICT授業支援員を委託し、ICT環境の維持と授業の補助を行う。	継続 校務用パソコンを小学校85台、中学校40台更新する。また、中学校へ電子黒板を18台購入する。さらに、ICT授業支援員を1名増員し、ICT教育環境の充実を図る。	学校教育課
	特別支援教育支援員配置事業	特別な支援を必要とする児童生徒に対する学校生活のサポートのための支援員を配置するとともに、資質向上のための研修会を定期的実施します。	平成30年度は、39名の支援員を配置した。	令和元年度は、42名の支援員を配置した。	継続 42名の特別支援教育支援員を配置し、効果的に活用する。	継続 42名の特別支援教育支援員を配置し、効果的に活用する。	学校教育課
	土曜学習推進事業	希望する小学生を対象として、土曜日に自主的な学習の場を提供する「土曜学習会」を市内6会場で実施し、子どもたちの学習意欲の向上を図ります。	白河中央、白河第二、東北、表郷、大信、東の6地域で各10回（計60回）の土曜学習を実施した。	白河中央、白河第二、東北、表郷、大信、東の6地域で各7回（計42回）の土曜学習を実施した。	継続	継続	学校教育課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	子どもの読書活動推進事業の実施	策定済みの「第二次白河市子ども読書活動推進計画」に基づいた図書館での調べ学習等に対応できる資料の充実、児童サービスに関する専門性を持った図書館職員の育成並びに配置を促進するほか、ブックスタート事業による図書の配布、更には、学校と連携を図りながら読書の推進に努めます。また、読書ボランティアの効率的な活用を進めます。	ブックスタート事業 1歳児対象 年12回 438人 ボランティア 5人	資料の充実 児童書 108267冊 児童サービス担当職員 りぶらん) 正2人、嘱・臨6人 地域館) 嘱・臨7人 学校図書館司書のサポート・育成 担当1人 ブックスタート事業(1歳児対象) 年12回 438人 担当4人 学校図書館・児童クラブへの貸出・ 配本 移動図書館の実施(大信・東) 図書館見学などの対応 学校でのおはなし会・ブックトーク (大信) 児童読書感想画展(学校)、手づくり 絵本展(児童クラブ)の実施 小中学生すべてに読書ノートを配布 おはなし会ボランティア 7人 ブックスタートボランティア 5人 読み聞かせ団体への協力(大信)	継続 ブックスタート事業：毎月1回1歳児検診時	継続 小学校新一年生への読書ノート配布 ブックスタート事業	図書館 こども育成課
(7)	子どもの生きる力と 思いや りを育 む教育 の充実 ②豊かな心の 育成	平成26年度から副読本「わたしたちの道徳」を配付しており、その活用を通じて、家庭と連携した道徳教育を展開します。	小学校、中学校において「特別の教科 道徳」として教科化された。教科書を使用している学習が行われた。	小学校、中学校において「特別の教科 道徳」として教科化された。教科書を使用している学習が行われた。	継続	継続	学校教育課
	学校図書館活用 推進事業の推 進	市立図書館と連携して学校司書の配置校を拡大し、学校図書館の有効活用を図り、本に親しむ子どもたちを増やします。	小学校全校(15校)、中学校5校に配置した。	小学校全校(15校)、中学校5校に配置した。	拡充 小学校全校(15校)と中学校全校(8校)に 広げる。	継続	学校教育課
	多様な体験活動 の推進	小学校では地域を知る活動を、中学校では職業体験を行い、地域との関わりを持つ機会とします。	小学校では総合学習の時間等で地域に関わる授業を推進した。また中学校では職業体験活動を実施した。	小学校では総合学習の時間等で地域に関わる授業を推進した。また中学校では職業体験活動を実施した。	継続 地区の人的資源や、物的資源を活用し、更なる 充実を図る。	継続 地区の人的資源や、物的資源を活用し、更なる 充実を図る。	学校教育課
	白河市歴史・文化 再発見事業	小学1年生から中学3年生に、系統的、体験的に、自分が生まれ育った白河の歴史、文化を知る機会を増やし、ふるさとに誇りを持てるようにします。	各小・中学校において、それぞれの地域及び白河の歴史、文化について学ぶ学習を実施した。	各小・中学校において、それぞれの地域及び白河の歴史、文化について学ぶ学習を実施した。	継続	継続	学校教育課
	図書館活動の推 進	「おはなし会」等の子どもと本を結ぶ図書館行事や本の相談業務を行い、発達段階に応じた楽しく豊かな本との出会いを推進します。	ちびっこおはなしのくに 年21回 568人 おはなし会 年21回 270人	ちびっこおはなしのくに 年21回 449人 おはなし会 年21回 220人	継続 ちびっこおはなしのくに：毎月第1・3木曜日 おはなし会：毎月第2・4土曜日	継続 ちびっこおはなしのくに：毎月第1・3木曜日 おはなし会：毎月第2・4土曜日	図書館

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	白河市歴史民俗資料の活用	特別企画展等を開催した際には、図録等を作成します。また、企画展のみならず、収蔵資料の目録や報告書の刊行など、広く市民への情報公開に努めます。	H30年度特別企画展「戊辰戦争と白河」開催時の図録作成を実施。また、白河市歴史民族資料館調査報告書として、「白河市内戊辰戦争戦死者墓・供養碑調査報告書」を刊行した。 白河市の歴史・文化に係わりのある資料等の収集及び調査・研究を継続実施。	令和元年度特別企画展「白河藩主七家二十一代」開催に際し、図録を制作した。 白河市の歴史・文化に係わりのある資料等の収集及び調査・研究を継続実施。	継続	継続	文化財課
	生徒指導体制の充実	生徒指導主事を中心に迅速な対応ができるように体制づくりを進めます。	「いじめ対策連携協議会」(生徒指導協議会)等を通して取組の強化を図った。	「いじめ対策連携協議会」(生徒指導協議会)等を通して取組の強化を図った。	継続 一人一人の児童生徒の実態把握に努め、個に応じたきめ細かな指導を行う。	継続 一人一人の児童生徒の実態把握に努め、個に応じたきめ細かな指導を行う。	学校教育課
	いじめの早期発見・早期対応	教師と児童生徒、児童生徒同士の良好な人間関係づくりに取り組み、いじめが発生しないように努めます。	QUテスト等による児童生徒の実態の把握を通して人間関係づくりや学級づくりを進めた。また、「『いじめ』について考える中学生フォーラム」を開催し、各中学校への啓発を図った。	QUテスト等による児童生徒の実態の把握を通して人間関係づくりや学級づくりを進めた。また、「『いじめ』について考える中学生フォーラム」を開催し、各中学校への啓発を図った。	継続 「白河市子どもいじめ防止条例」(平成30年4月1日施行)及び「白河市いじめ防止基本方針」(平成31年)に基づき、いじめの未然防止、早期発見、対応を行う。	継続 「白河市子どもいじめ防止条例」(平成30年4月1日施行)及び「白河市いじめ防止基本方針」(平成31年)に基づき、いじめの未然防止、早期発見、対応を行う。	学校教育課
	不登校児童生徒への早期対応	学級満足度尺度と学校生活意欲尺度を測定できるQ-Uテストの活用を図り、学級の実態把握と対策に努めます。	QUテストを通して児童生徒の実態把握を行い、不登校への早期発見・早期解決に努めた。また「さわやか教室」の活用を図った。	QUテストを通して児童生徒の実態把握を行い、不登校への早期発見・早期解決に努めた。また「さわやか教室」の活用を図った。	継続	継続	学校教育課
	問題行動および非行の防止	子ども一人ひとりに対する日常生活における観察の充実、変容の把握に努めます。	生徒指導研修会や校長会を通して、QUテストを始めとする各種調査や日常生活の観察に努めるよう働きかけた。	生徒指導研修会や校長会を通して、QUテストを始めとする各種調査や日常生活の観察に努めるよう働きかけた。	継続	継続	学校教育課
	家庭・地域・関係機関との連携	見守り隊との交流や親子行事の開催に加え、日常的にあいさつや共同生活活動を充実させます。	日常指導や、道徳の授業を通して指導した。	日常指導や、道徳の授業を通して指導した。	継続	継続	学校教育課
	スクールカウンセラー配置事業【再掲】	全小中学校にスクールカウンセラーを配置して、児童生徒や保護者の悩み、不安を受け止めて相談に当たることにより、いじめや不登校などの問題の未然防止を図ります。	【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】	学校教育課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
(7) 子どもの生きる力と思いやりを育む教育の充実 ③健やかな体の育成	子どもの体力・運動能力向上事業の推進	保育園、幼稚園、小・中学校において、コーディネーショントレーニングを導入し、バランスよく体力・運動能力を高めるようにします。	各校の実態に応じた体力向上推進計画を作成し、一人一人に目標を持たせながら体力向上に努めた。	各校の実態に応じた体力向上推進計画を作成し、一人一人に目標を持たせながら体力向上に努めた。	継続 コーディネーショントレーニングをさらに普及、定着させ、体力・運動能力の向上を図る。	継続 コーディネーショントレーニングをさらに普及、定着させ、体力・運動能力の向上を図る。	学校教育課 こども育成課
	運動部活動の支援	地域人材との協力関係をつくることに加え、安心して活動に取り組めるように体罰等の絶無を指導徹底します。	地域人材の活用、連携を図るとともに、体罰等の絶無に向けて服務倫理委員会等の取組を推進した。	地域人材の活用、連携を図るとともに、体罰等の絶無に向けて服務倫理委員会等の取組を推進した。	継続	継続	学校教育課
	食育事業の推進	「早寝・早起き・朝ごはんの推進」を中心に、家庭に対し啓発するとともに協力を求めています。 また、平成29年度に策定した第2次白河市食育推進計画に基づき、関係各課と連携し幼少期から自ら学ぶ機会の提供や若い世代への食育を推進します。	第2次食育推進計画に基づき、朝食摂取の指標及び目標値を設定し、市民に周知した。	各学校の教育計画にもとづいて、食育の授業、個別指導を実施した。	継続	継続	健康給食推進室
			・乳幼児健康診査時に保健指導・栄養指導を実施。 ・広報2月号に「子どもの生活習慣病予防」「早寝・早起・朝ごはん」について掲載。	・乳幼児健康診査時に保健指導・栄養指導を実施。 ・広報2月号に「子どもの肥満と生活習慣病予防」「早寝・早起・朝ごはん」について掲載。	継続	継続	こども支援課
			第2次食育推進計画に基づき、朝食摂取の指標及び目標値を設定し、市民に周知した。	継続	継続	継続	こども育成課
			第2次食育推進計画に基づき、朝食摂取の指標及び目標値を設定し、市民に周知した。	継続	継続	継続	健康増進課
		口腔の健康管理【再掲】	フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口事業や歯科衛生士の活用を図り、口腔の健康管理に理解を深め実践につなげます。	フッ化物洗口実施校 ：小学校 13校 ：中学校 6校	フッ化物洗口実施校 ：小学校 13校 ：中学校 6校	継続 全校実施に向け、さらに取り組みを進める。	継続
(7) 子どもの生きる力と	学校経営の充実	保護者や地域の方々がより授業や行事に参加できるよう工夫し、開かれた学校づくりに努めます。	年3回の土曜授業を全小・中学校で実施し、保護者や地域の方々が授業や行事に参加できるようにした。	運動会や学習発表会、文化祭等、学校や地域の実態に応じて、保護者や地域の方が参加できるようにした。	継続	継続	学校教育課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
思いや りを育 む教育 の充実 ④信頼 される 学校づ くり	市民バイキング 講座の活用	「市民共学」出前講座の活用を促進するため、各種会議等で講座のPRを行い、実施件数の増加に努めます。	「市民共学」出前講座との事業統合を行い、より魅力ある講座メニューの開発と広報誌等によるPRに努めた。 開設講座117講座 実施件数50件	「市民共学」出前講座をHP等に掲載しPRに努めた。 開設講座117講座 実施件数43件	継続 自主的に活動している団体・サークルの会員が講師・スタッフとして依頼のあった学校・団体等を訪問し、講座を開催するなどにより推進を図る。	継続 自主的に活動している団体・サークルの会員が講師・スタッフとして依頼のあった学校・団体等を訪問し、講座を開催するなどにより推進を図る。	生涯学習スポーツ課
	学校施設の有効活用	地域の要請に応じ、積極的に有効活用を図ります。	継続	継続	継続	継続	学校教育課
	学校運営協議会の活用	学校運営協議会の運営をより充実させるとともに、地域住民等に学校活動を知ってもらう機会を増やすことで、学校評価が経営ビジョンに反映されるようにします。	継続	継続	継続 コミュニティスクール制度の導入のための準備を進める。	継続 コミュニティスクール制度の導入のための準備を進める。	学校教育課
	学校施設の整備	安全で豊かな学校環境を提供するために、老朽校舎の改修など、学校施設の整備を適切に行います。	老朽校舎の改築や安全性確保のための改修等を計画的に行った。	老朽校舎の改築や安全性確保のための改修等を計画的に行った。	継続	継続	教育総務課
	教職員の資質の向上	積極的に研修に取り組み、その成果を教員同士が共有できるようにします。	白二小、白三小、みさか小、白二中の研究公開に多くの先生方が参加した。	白一小、みさか小、中央中、白河二中の研究公開に多くの先生方が参加した。	継続 白河一小、みさか小、中央中、白二中の研究公開が実施されるため、多くの教職員の参加を求める。	継続 白河一小、みさか小、中央中、白二中の研究公開が実施されるため、多くの教職員の参加を求める。	学校教育課
	安全管理の推進	毎月の安全の日に安全点検を実施するとともに、日常の安全管理を徹底し児童生徒の事故防止に努めます。	全小・中学校で、安全点検を実施し、児童生徒の事故防止に努めている。	全小・中学校で、安全点検を実施し、児童生徒の事故防止に努めている。	継続	継続	学校教育課
(7) 子ども の生き る力と 思いや りを育 む教育 の充実 ⑤幼児 教育の 充実	3年保育の実施・充実	公立幼稚園8園、私立幼稚園5園すべてにおいて3年保育を実施しており、今後も幼児期の発達段階に応じた教育内容・方法などの充実を努めます。	実施済	継続	継続	継続	こども育成課
教職員の資質の向上	西白幼稚園教育研究協議会の研究テーマに基づき、毎月1回の現職教育を行い、園外研修についても積極的に参加します。	実施済	継続	継続	継続	継続	こども育成課
教育環境の充実	園児が自発的、主体的な態度を養うことができるように、興味を持って取り組める教材、遊具等の整備を図ります。	継続	継続	継続	継続	継続	こども育成課
施設の整備	幼児教育の質的变化や新たな施策に対応するため、長期的な幼児数の変動を把握し、適正な施設の整備に努めます。	拡充 ひがし保育園建設事業について、基本設計を実施した。	ひがし保育園建設事業について、12月に契約となり建設工事に着手した。	拡充 ひがし保育園建設事業について、実施設計を行い、今年度と来年度の2カ年継続事業による建設工事の発注を予定している。	継続 令和2年12月25日完成予定	継続	こども育成課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	施設の維持管理	幼児教育にふさわしい環境づくりを目指し、施設の維持管理に努めるとともに、設備の充実を図ります。	継続	継続	継続	継続	こども育成課
	保育園、幼稚園と小学校の連携	教職員の交流に加え、「指導要録」や「保育要録」の記載事項での児童理解を深め連携を図ります。	小学校から幼稚園に出むいて幼児の様子を把握するようにしている。	小学校から幼稚園に出むいて幼児の様子を把握するようにしている。	継続	継続	学校教育課 こども育成課
	私立幼稚園への振興助成	私立幼稚園の幼児教育の振興を図るため、市内の各幼稚園に対し助成金の支給を行います。	実施済	継続	継続	継続	こども育成課
	障がい児教育の充実	市内の幼稚園において心身の発達に不安のある子どもの教育相談や教育の充実に努めます。	教育委員会で該当園児の実態把握に努めている。家庭児童相談員による教育相談を実施している。	教育委員会で該当園児の実態把握に努めている。家庭児童相談員による教育相談を実施している。	継続 さらに、幼稚園、小学校の情報共有に努める。	継続 さらに、幼稚園、小学校の情報共有に努める。	学校教育課 こども育成課
(8) 家庭や地域の教育力の向上 ①家庭養育への支援の充実	子育て学習講座事業の推進	「白河市幼・小・中・高PTAの集い」と連携しながら、保護者等に対して家庭教育に関する学習機会を提供し、家庭の教育力の向上を目指すとともに、父親の家庭教育参加の機会とします。	幼少中高PTAの集いで周知	幼少中高PTAの集いで周知	継続 白河市幼・小・中・高PTAの集いと連携しながら、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供し、家庭の教育力の向上をめざすとともに、父親の家庭教育参加の機会としたい。	継続 白河市幼・小・中・高PTAの集いと連携しながら、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供し、家庭の教育力の向上をめざすとともに、父親の家庭教育参加の機会としたい。	生涯学習スポーツ課
	学校教育学級の開催	人間性豊かな子どもを育てる基盤となる家庭教育の充実に向けて、家庭教育学級を継続して実施します。	市内幼稚園、保育園や小、中学校37園校で家庭教育学級を開催した。 参加人数延べ7,349人	市内幼稚園、保育園や小、中学校37園校で家庭教育学級を開催した。 参加人数延べ7,228人	継続 今後とも引き続き家庭教育学級を実施し、人間性豊かな子どもを育てる基盤となる家庭教育の充実に図りたい。	継続 今後とも引き続き家庭教育学級を実施し、人間性豊かな子どもを育てる基盤となる家庭教育の充実に図りたい。	生涯学習スポーツ課
	ブックスタート事業	1歳児健康診査時に、絵本の読み聞かせと絵本のプレゼントを実施し、母親等が絵本を通して子どもとの関わりを学ぶ機会を提供します。	【再掲】	年12回 449人 ボランティア 5人	継続	継続 新型コロナウイルス対応のため、郵送等での実施もあり	図書館
(8) 家庭や地域の教育力の向上 ②地域の教育力の向上	コミュニティ活動への支援	コミュニティ活動を支援するために、「市民共学」出前講座の活用を促進します。	「市民共学」出前講座との事業統合を行い、より魅力ある講座メニューの開発と広報誌等によるPRに努めた。 開設講座117講座 実施件数50件	「市民共学」出前講座をHP等に掲載しPRに努めた。 開設講座117講座 実施件数43件	継続 各種出前講座を通して、市民の生涯学習相談を行ってきたので、今後も継続したい。	継続 各種出前講座を通して、市民の生涯学習相談を行ってきたので、今後も継続したい。	生涯学習スポーツ課
	子育て支援・地域活動事業【再掲】	市内の認可保育園12園で毎月1、2回、保育園を開放し、未就園親子を中心に触れあい遊びや育児相談を行います。	実施済	継続	継続	継続	こども育成課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	学校施設の開放	スポーツの振興と地域行事への活用のため、学校施設開放事業を実施します。	市立学校23校の体育館及び校庭を学校教育に支障のない範囲で開放した。 体育館：のべ55,858人 校庭：のべ28,130人	市立学校23校の体育館及び校庭を学校教育に支障のない範囲で開放した。 体育館：のべ55,459人 校庭：のべ19,660人	継続	継続	教育総務課
	スポーツ教室の開催	各種スポーツ教室に加え、幼児・児童を対象としたスポーツ教室を企画し、幼児期から身体を動かしてスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、スポーツを通して親子の触れあいが図られる等の内容を充実させ、心身ともに健全な青少年の育成への一助とします。	継続 小・中学生向けの教室を中心に47の教室を開催した。(通年の教室を含む。) 参加人数：のべ13,734人	継続 小・中学生向けの教室を中心に47の教室を開催した。(通年の教室を含む。) 参加人数：のべ13,485人	継続 各種スポーツ教室を充実させる事により、受講者の増加を図る。 また、高齢者の健康寿命の延伸を目的とした教室を新設する。	継続 各種スポーツ教室を充実させる事により、受講者の増加を図る。 また、高齢者の健康寿命の延伸を目的とした教室を新設する。	生涯学習スポーツ課
	スポーツ少年団活動への支援	スポーツ少年団は、スポーツ活動を中心に奉仕活動や文化活動を通して、心身の健全な育成が図られることから、スポーツ少年団本部加盟団体に対し、必要な支援を行います。	継続 加盟団体：45団体 育成費交付額：540,000円	加盟団体：45団体 育成費交付額：540,000円	継続 引き続き、白河市スポーツ少年団本部加盟団体への支援を行う。	継続 引き続き、白河市スポーツ少年団本部加盟団体への支援を行う。	生涯学習スポーツ課
	子ども会育成会支援事業	「福島県子ども会安全会」の保険加入手続きや青少年育成関係事業の情報提供を行うなどの支援を行います。	平成30年度子ども会安全共済会加入者 434名	継続	継続 今後も子ども会安全共済会加入窓口業務を行っていく。	継続 今後も子ども会安全共済会加入窓口業務を行っていく。	生涯学習スポーツ課
	「白河市幼・小・中・高等学校PTAの集い」の開催	教育力の向上と地域コミュニティづくりを目的として、市内の保育園、幼稚園、小・中学校、高等学校のPTA関係者が一堂に会し、様々な教育上の問題についての情報交換や研修会を実施します。	研修会、ノーメディアデー、スマートフォンの使用に関する調査を行った	メディア依存に関わる研修会を実施し、メディアコントロールの重要性について啓発を実施した。	継続 社会情勢を踏まえ、今後はインターネットを通じた様々なツールと上手く付き合っていくことを主眼として「ノーメディアデー」を「メディアコントロール」に変え、「スマホ ケイタイ親の約束」運動とともに、重点的に推進していく。	継続 社会情勢を踏まえ、今後はインターネットを通じた様々なツールと上手く付き合っていくことを主眼とした「メディアコントロール」運動を実施し、重点的に推進していく。	生涯学習スポーツ課
	青少年育成関係団体への支援	ボーイスカウト福島連盟白河第1回の活動に対して支援を行います。	活動報償費交付額 40,000円	活動報償費交付額 40,000円	継続 今後も引き続き日本ボーイスカウト白河第3団に対する支援を行う。	継続 今後も引き続き日本ボーイスカウト白河第3団に対する支援を行う。	生涯学習スポーツ課
	白河市体育協会活動の支援	各種スポーツ教室や市民総合体育大会の企画運営を行っており、幼児から高齢者までスポーツに親しむ機会を提供するとともに、家族ぐるみで参加できるスポーツのイベントを開催しています。さらなる活動充実のため、支援を行います。	白河市体育協会補助金 7,400,000円 社会体育団体：31団体 育成費交付額：682,000円	継続	継続 白河市体育協会に対し、さらなる活動の充実を図るため支援を行う。	継続 白河市体育協会補助金 7,000,000円 白河市体育協会に対し、さらなる活動の充実を図るため支援を行う。	生涯学習スポーツ課
	総合型地域スポーツクラブの支援	クラブ運営は、地域住民の主体的な参加を通じて行われるため、地域住民の連携・協働を促し、公正で福祉豊かな地域社会を構築する上で重要な意義を有します。このため、クラブの自主事業及び未設置の地域がクラブを立ち上げる際に支援を行います。	総合型地域スポーツクラブの運営に補助金を交付 補助金交付団体：3団体 交付額：121,000円	継続	継続 既存クラブの自主事業への支援と、新たに総合型地域スポーツクラブ設立の際に支援を行う。	継続 既存クラブの自主事業への支援と、新たに総合型地域スポーツクラブ設立の際に支援を行う。	生涯学習スポーツ課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
	白河文化交流館の活用	次世代を担う子ども達に継続的に芸術文化に触れる機会を提供し、感動を体験させることは人材育成の面からも非常に効果があることから、日常的に芸術文化に触れ親しむ機会の拡充を図ります。 また、保育・教育活動のために施設を利用する場合には、文化活動支援のため使用料を免除します。	継続	継続	継続 引き続き、白河文化交流館「コミネス」を活用し、子どもたちが気軽に質の高い音楽に触れる機会を創出するなど、日常的に芸術文化に触れ親しむ機会の拡充を図る。	継続 引き続き、白河文化交流館「コミネス」を活用し、子どもたちが気軽に質の高い音楽に触れる機会を創出するなど、日常的に芸術文化に触れ親しむ機会の拡充を図る。	文化振興課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
(1) 子どもの人権尊重	子どもの人権等に関する普及啓発の促進	文部科学省「人権教育指導方法等の在り方について」をもとに、各学校での実践につながるよう指導します。	継続	継続	継続	継続	学校教育課
	子どもの声を生かしたまちづくりの推進	まちづくりに子どもの意見や要望を反映するために、企画や意見の発表の場を提供できるよう環境整備に努めます。	継続	継続	継続	継続	関係各課
(2) 児童虐待防止対策の充実	要保護児童対策地域協議会の推進	児童福祉法による法定協議会である「白河市要保護児童対策地域協議会」では、代表者会議、実務者会議及びケース検討会議を開催します。各構成機関の連携のもと、児童の虐待防止と健全育成に努め、地域全体で子育て支援を推進し、要保護児童への対応等きめ細かな取組を進めます。	継続	継続	継続	継続	こども支援課
	虐待の発生予防	児童虐待の発生を予防するため、日常的な育児相談機能の強化や養育者が精神的にも肉体的にも最も支援を必要とする出産後間もない時期を中心とした母子保健事業の強化を図ります。	乳幼児訪問事業及び養育支援訪問事業を実施。養育支援訪問 23件	乳幼児訪問事業及び養育支援訪問事業を実施。養育支援訪問 24件	継続	継続	こども支援課
	虐待の早期発見・早期対応	虐待の早期発見・早期対応を進めるため、白河っ子応援センターにおける妊娠期からの切れ目ない支援の充実や幼稚園、保育園及び児童クラブ等との連携を図ります。	継続	継続	継続	継続	こども支援課
	虐待に関する相談体制の充実	虐待に関する相談については、児童相談所に加え、令和元年9月に開所した児童家庭支援センターとも連携し、支援体制の充実を図ります。	継続	継続	継続	継続	こども支援課
	ホームスタート事業【再掲】	未就学児の子どもがいる世帯を対象に、地域の子育て経験者（ホームビジター）が家庭を訪問し、傾聴と育児や家事を協働して行うことにより、ネグレクト（育児放棄）等の虐待防止及び早期発見、並びに親の地域社会との関わりを手助けすることにより、孤立化防止など要保護児童対策を図ります。	【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】	こども支援課
(3) 子どもの立直り支援	相談体制の整備	被害を受けた子どもの早期発見と早期対応に努めるとともに、立直りを支援するため、関係機関と連携したきめ細かな相談体制の整備に努めます。スクールカウンセラーの派遣を今後も継続します。	必要に応じて、SCを派遣した。	必要に応じて、SCを派遣した。	継続 家庭児童相談員やスクールカウンセラーとの連携を図る。また、必要に応じてケース会議を開催する。	継続 家庭児童相談員やスクールカウンセラーとの連携を図る。また、必要に応じてケース会議を開催する。	学校教育課
			継続	継続	継続	継続	こども支援課

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課	
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度		
(4) 療育体制の整備 障がい児施策 の充実	療育体制の整備	障がい児に対する療育体制を整備するために、保健・医療・福祉・教育等の連携の強化を図ります。	継続	継続	継続	継続	社会福祉課	
	障がい児の在宅生活支援	障がい児を有する児童が地域生活をしやすいように、家庭介護の状況により、ホームヘルプサービスや介護者の一時的用事のため介護できない場合に短期入所を提供します。 また、療育指導が必要な児童に対し、児童通所支援施設において、児童発達支援などのサービスを提供すると共に、一人ひとりの抱える課題を適切に解決するために障がい児相談を支援します。	障がい福祉サービス(実績) 10人 障がい児通所サービス(実績) 201人	障がい福祉サービス(実績) 16人 障がい児通所サービス(実績) 236人	継続	継続	社会福祉課	
	就学前の障がい児の発達支援の無償化	子育て世帯を応援するため、3歳から5歳までの障がい児が利用する児童発達支援等のサービスについて、利用者負担を無償化します(令和元年10月1日～)。		無償化対象児童数(実績) 59人(R1.10.1~R2.3.31)	新規(R1.10.1~)	継続		社会福祉課
	白河っ子応援事業【再掲】	保育園・幼稚園の4歳児を対象にすこやか相談会やフォローアップ訪問を開催します。	【再掲】	【再掲】	【再掲】	【再掲】		こども支援課
	特別児童扶養手当、障害児福祉手当の支給	20歳未満で身体又は精神に障がい児を有する児童を家庭で監護、療育している父母等を対象に特別児童扶養手当を支給します。 障がい児が重度のため日常生活において常時介護を必要とする状態にある児童には障害児福祉手当が支給されます。	特別児童扶養手当受給者数 181人(H31.4.30現在)	特別児童扶養手当受給者数 201人(R2.4.30現在)	継続 平成31年4月分以降額改定 1級 51,700円→52,200円 2級 34,430円→34,770円	継続 令和2年4月分以降額改定 1級 52,200円→52,500円 2級 34,770円→34,970円		こども支援課
	自立支援医療(育成医療)の助成	8歳未満(18歳以上は更生医療)の身体障がいのある児童で、障がいを除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる者に対して、生活の能力を得るための育成医療費を助成します。	育成医療 支給対象者 (実績) 25人	育成医療 支給対象者 (実績) 12人	継続	継続 H31.4月から額改定 14,650円→14,790円		社会福祉課
	補装具費の支給	身体に障がいのある児童が、将来社会人として自活するための育成を助長するために、身体機能を補完・代替する補装具の交付と修理を行います。	補装具費支給事業(実績) 24件	補装具費支給事業(実績) 30件	継続	継続		社会福祉課
地域生活支援事業	単独では外出困難な障がい児が、社会生活上必要不可欠な余暇活動や社会参加等のための外出を支援するために、ガイドヘルパーによる移動の介助及び介護を伴う場合の移動支援や日中において監護する者がいないため、一時的に見守りが必要な児童や日常的に介護している家族等の一時的休息を計るための日中一時支援を提供します。 また、障がい児の日常生活がより円滑に行われるよう日常生活用具の給付等を行います。	移動支援(実績) 3人 日中一時支援(実績) 23人 日常生活用具給付(実績) 0件	移動支援(実績) 3人 日中一時支援(実績) 30人 日常生活用具給付(実績) 4件	継続	継続		社会福祉課	

基本施策	施策	概要	実施状況		指針		担当課
			平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	
特別支援学級児童生徒の就学補助の実施 特別支援教育の推進		子ども一人ひとりに対する日常生活における観察の充実、姿勢の把握に努めます。 学習障がい（LD）、注意欠陥／多動性障がい（ADHD）、高機能自閉症等、教育や療育に特別のニーズのある子どもについて、教員の資質向上のために研修の機会を持つとともに個別のかかわりへの支援をします。	支援員を配置するとともに、個別の教育支援計画・指導計画の作成を依頼した。	支援員を配置するとともに、個別の教育支援計画・指導計画の作成を依頼した。	継続	継続	学校教育課
			校長会・教頭会、支援員研修会3回、就学指導担当者会を実施した。	校長会・教頭会、支援員研修会3回、就学指導担当者会を実施した。	継続	継続	学校教育課